

ふつうってなに？

城山小学校2年
竹内 瑛玲奈

わたしは、0歳から4歳までタイのバンコクでくらしていました。タイの人たちはみんなやさしくて、いつもニコニコしながら話しかけてくれたのをおぼえています。これは、バンコクでわたしの家ぞくがけいけんして、教えてくれたできごとです。わたしたちがバンコクにひっこしたばかりのある日、リビングの天じょうにあるエアコンから水がぽたぽたとたれてきました。エンジニアさんをよんでも見てもらっていたら、とつぜん水が、バッシャーンと天じょうからながれてくれました。すると、エンジニアさんたちが、「マイペンライ、マイペンライ!!（だいじょうぶ、だいじょうぶ）」

といってわらっていたそうです。ひっこしのにもつや、わたしの赤ちゃんグッズも、かぐも水びたしになって、おかあさんはパニックになってしまって、

（ふつうはこんなときにわらったりしないのに。。。）

と、かなしくなったそうです。でも、あとでタイの人たちにとっては、あいてがピンチやこまったときこそえがおを見せるのが「ふつう」と知ったそうです。エンジニアさんたちは、本とうはおかあさんをはげましたかったのです。わたしはそれを聞いて、日本のふつうとタイのふつうはちがうんだなと思いました。日本とタイでほかにちがうことはあると思います。でも、知らないだけであいてのことをわるく思ったり、かんちがいしてしまうことがあるんだなと思いました。

わたしはたまに、お友だちにかなしいことばを言われてきずつくことがあります。わたしはそういうとき、なにも言えなくてかなしい思いをして1日すごしています。でもそんなとき、お友だちの本とうの考え方をちゃんと聞いてみようと思いました。言うのにはゆう気がいるけど、おなじ日本人でもみんな考え

かたはちがうから、お友だちの考えも聞いてみたいにしたいです。そうすれば、もっとお友だちとなかよくなれるとしんじています。

わたしは、3年生からアメリカにひっこしをします。そこでまた、たくさんの「ふつう」にであうと思います。アメリカ人だからとか、日本人だからとかじゃなくて、みんな一人一人がみんなちがって、ちがう人だから、「ふつうはこう。」ってきめつけないことがたいせつだと思います。あいての考えを知らないだけで、かんちがいしてしまうのは、とてもかなしいです。わたしは、お友だちやまわりの人、これから出会う人の思いをたいせつにしていきたいです。

